

パネルディスカッション「化学物質とどう付き合っていくか ～リスクとメリットから考える～」について

1. ねらい

化学物質に関する環境省の取組とその成果について情報提供を行い、「化学物質のリスク評価」をどう進めているかに焦点をあて現状を伝え、情報共有を図る。その上で、化学物質のリスクとどう向き合っていくかを、参加者とともに考えていく。

2. 内容

環境リスク = 作用の強さ × ばく露量であるといったリスク評価についての説明や、作用を検証するための試験法の実際・問題点についての解説、ばく露量把握のための環境実態調査についての紹介を行い、その上で一般市民の代表からの疑問をもとに議論を展開する。

3. 形式

市民とのコミュニケーション促進という実施目的を明確にするために、ステージ上に情報の受け手である一般市民の代表を配置し、専門家や担当者が一般市民の代表からの疑問に対して答えるという形式で進める。VTR 等を使用しつつ、分かり易くディスカッションしていく。

4. パネリスト構成

パネリスト	一般市民の代表
青山 博昭	新庄 久志
蒲生 昌志	福井 行雄
北窓 隆子	嵩 一成
原田 靖之	有田 芳子

5. 時間

1 時間 20 分程度

(参考)

平成 16 年度、平成 17 年度パネルディスカッションについては、いずれも 70 分番組として NHK 教育テレビ放映された。